



(年譜)



発行者兼編集者  
 鵜 戸 神 宮  
 社 務 所  
 印刷所  
 西 日 本 印 刷

ご あ い さ し

宮 司 長 友 安 美

春暖の候、氏子、崇敬者の皆様には益々御健勝の御事とおよろこび申し上げます。人間は有史以来規程ある集団として一つの社会をかたちづくってきました。その社会は人類の進歩とともに規模を拡大し、いまでは国家が基本単位として社会的、経済的生活の中心となっています。

特に資源の乏しい我国は諸外国との貿易によって国民経済が発展して来ましたが、これからもそれら諸外国との貿易なくしては日本経済は立ち行けない実情にあります。特に日本の将来が海外諸国との密接な交流にかかっている以上国際人の養成可能性の限界に挑戦してゆける強じんな精神力を持った人材、更には日本人みずからの生存のためにも日本が世界に貢献出来る技術資源、科学資源の活用以外にないと考えられますが、一方ひるがえって最近の国内を見渡しますと、特に学校内暴力、家

庭内暴力等がマスコミを賑はせ青少年の精神荒廃が強叫ばれていますが、教育面に於いても考慮しなければならぬ点があるのではないかと思われまふ。

特に神に奉仕する者は日本の将来を背負うこれ等青少年の精神教育に精進することが最も肝要なことではないかと痛感される所でありまふ。

たまたま当宮におきましては本年は人皇第五十代桓武天皇延暦元年秋、光喜坊快久が宣命を奉じて神殿を再興してより千二百年の佳き年に当り延暦中興千二百年祭奉祝行事及び記念事業等も計画致し居ります。

不肖さきに計らずも神職身分特級を拜命致して益々神明に奉仕する責務の重且つ大なるを痛感致して居る次第であります。

最後に皆々様の御多幸を祈念致して挨拶と致します。

### 例祭

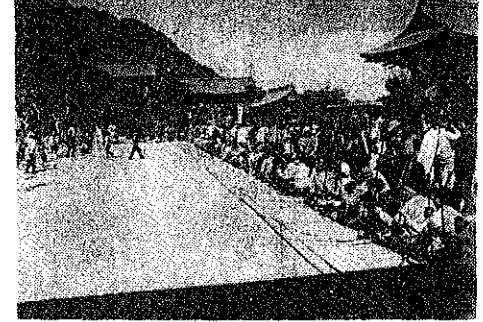
(二月一日)

去る二月一日、寒寒厳しい折中当神宮例祭は盛大かつ厳肅に行われました。当日は献幣使に県神社庁副庁長杉田清氏を迎え責任役員氏子、崇敬者総代をはじめ英彦山神宮、露島福宮、鹿兒島神宮、宮崎神宮、青島神社、県内神社の宮司様を始め、官公衛、敬神婦人会代表など、多数の参列者が午前十一時の敷報を合図に祭典が執り行われた。浦安の舞が奉納され、祭典終了の後、儀式殿に於いて直会の席が設けられ、例祭の盛儀を祝いました。



### 奉納剣道大会

前日より雨も止み晴天に恵まれた例祭当日二月一日第二十九回剣道法苑鵜戸山顕彰剣道大会(主催県剣道連盟日南支部、後援鵜戸神宮、西日本新聞社)が催され、奉納された。県内各地より豆剣士、女剣士がぞくぞくと集まり、一般団体四十八チーム、高校団体十五チーム、中学生団体五十六チーム、少年団体六十一チーム、合計一八〇チーム、一般、高校女子個人五十四人、中学生女子個人六十一人、小学生女子個人九十八人、合計二〇五人総勢千数百人の選手が参加し、応援などを加えると約二千人の人々で儀式殿前の八会



場を埋め尽くし技を競い合った。尚、当大会には延暦中興千二百年祭の特別賞品として、団体優勝の部に胴と個人優勝者に胴二、三位に剣道衣、参加者全員に千二百年祭奉祝記念のつぼが贈られる事になっていたが、選手への試合にも普段にもまして熱のこもった気合が速日案に木霊し合っていた。さらに昨年、全国制覇を成し上げた外山光利氏の天皇杯、優勝旗が下の御門に飾られ、千二百年祭の賞品と共に選手又参拝客に披露された。試合の結果は左記の通りであった。

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 男子            | 女子                 |
| 大学一般 警察本部(官崎) | 高校一般 原美佐緒 (高鍋高校)   |
| 高校 宮崎中央高校(宮崎) | 中学校 溝口貴子 (小林中学校)   |
| 中学校 修道館(延岡)   | 小学校 川俣真由美 (月心館・日南) |
| 少年 神武館        |                    |

### 奉納・四半的弓道大会

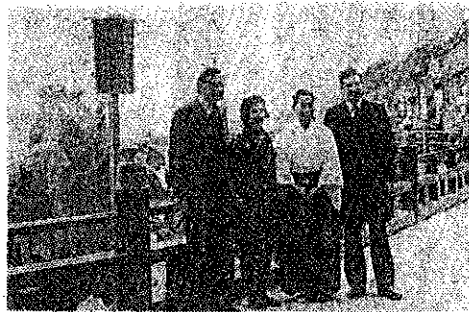
二月十一日、建国記念日、当宮の御本殿では紀元祭が厳かに斎行される中、儀式殿前広場に於いて、第十回鵜戸神宮奉納四半的弓道大会が催された。

- 見入っていた。試合の結果は次の通りであった。
- |              |               |
|--------------|---------------|
| 一般の部         | 個人の部          |
| (団体の部)       | 1. 中平野 A      |
| 1. 野辺新男(串間)  | (個人の部)        |
| 高令者の部        | 1. 西都妻        |
| (団体の部)       | (個人の部)        |
| 1. 小野 進(日南)  | (個人の部)        |
| 女子の部         | 1. 石井凱子(服部教室) |
| (個人の部)       | 女子高令者の部       |
| 1. 見玉セキネ(米良) | (団体の部)        |
| 学生の部         | 1. 川南         |
| (個人の部)       | (個人の部)        |
| 1. 神戸健司(串間)  |               |

### 英国大使の参拝

二月六日、あいにくの曇り空でありましたが、英国大使サー・ヒューコータッチ氏、エリザベス夫人、秘書官三名が官崎へ視察の為訪れ、当神宮を参拝されました。大使一行は県庁並びに商工会議所等を表慶訪問され、宮崎県との親交を深められました。

英国大使 運玉前



英国大使参拝 洞内の写真

### 広島東洋カープ必勝祈願

コータッチ大使は日本のサラリーマン小説の英訳を行うなど、日本文化に対する造詣が深く、一方夫妻ともにイタリアのルネサンス芸術に対しても深い関心を持っておられ、休暇の多くをイタリアで過ごされているとのこと。

大使は一八一八年に創設された勲章、聖マイケル、聖ジョージ勲章を一九六九に与えられ、一九八〇年には外交面で大きな功績を残した人に与えられるKCMG(KNIGHT)の略を受け、クサーの称号が与えられたと言っています。

昨年プロ野球日本一に輝き、V2を達成した広島カープが二月三日宮崎入りし、日南天福球場に於いてキャンプを張った。三日はあいにくの曇り日よりであったが、例年通りキャンプインに祭し当神宮に於いてV3達成の必勝祈願を行った。

松田耕平オーナーを始め古葉竹識監督外八十二名の選手は空港で広島東洋カープ日南協力会等多くのファンに迎えられ、歓迎式を終えた後、当神宮を訪れた。選手団が境内入りすると多くの赤ヘルファンがとり囲み、又参拝におとずれていた人等も一緒に、サインを頼みこん

カープ 機門前



運玉前



本殿では松田耕平オーナー、古葉竹識監督山本浩二主将が昇殿し、祝詞奏上後、玉串奉奠を行い、選手一同V3の達成を祈願した。帰りに選手一同は壘石の亀石に運玉に投げ入れ、本年も運が開けます様にと念じて宿舎へ向った。

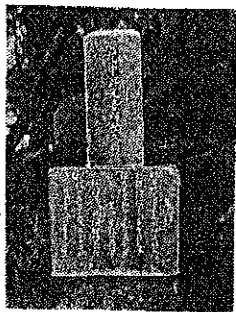
日南市でのキャンプも十九年目を迎え、昨年のV2達成によって一段とカープ熱が高まり、街角のあちこちに歓迎の幕と票柱が立ち並び全市をあげて歓迎し、又三月四日までのキャンプ中、天福球場の選手等に大きな声援を送っている。

# 延暦中興千二百年祭を迎えて

権官司 佐藤 美春

皆様の日頃篤いご崇敬を頂いておられます鵜戸さんは、社伝によりますと、今から約二千百年前の第十代崇神天皇の御代のご創建と伝え、第五十代桓武天皇の延暦元年秋、天台宗の僧光喜坊伏久が宣命を奉じて、社殿を再興し、併せて寺院を建立し、勅号を鵜戸山大権現吾平山仁王護國寺と賜ったと伝えております。この延暦元年から数えて今年には千二百年になります。

これから鵜戸さんは六臂権現とも称し、社殿には六つの鬺音も安置し、神様にお経を上げる様になり、神仏習合となりました。



鵜戸山大権現吾平山仁王護國寺は、其の名の示す様に、皇室でも重々考えられ、日向の国の守護寺として、明治維新まで国家安泰、武運長久、諸人快楽を祈る日供の護摩が修行されておりました。鵜戸さんは、領主伊東氏の殊の外篤い崇敬により、度々の大寄進で、室町時代の末には寺坊、山門が完成し、いよいよ皇室をはじめ一般国民の篤い尊信をあつめ、人々が西の高野と称するほどに盛綱を極めました。さて西の高野とも称されて栄えてまいりました鵜戸さんも、明治維新の神仏分離により、お寺くさい建物はことごとくこわされて、洞窟内の社殿だけが昔の面影を残しました。しかし神社本来の姿に復した鵜戸さんは、明治二十八年に、官幣大社鵜戸神宮として、国の鄭重なる処遇を得て来ました。ところが戦後は国家の管理を離れ、参拝者もとみに少くなり、加えて二百五十余年の歳月を経たという社殿の傷みがはげしくなり、憂慮される状態となりました。

## 宮司長友安美氏特級昇進

### 祝賀会

当神宮々司長友安美氏の神社本庁身分特級に昇進された祝賀会は、県神社庁々長甲斐武教様をはじめとした神宮役職員の呼びかけで三月八日宮崎市のシーサイドフエニックスホテル大広間に於て十一時より開催された。

時刻、神社本庁副総長(福岡県神社庁々長) 浄見晴夫様、茨彦山神宮々司(福岡県神社庁副庁長) 高千穂有英様、宮崎宮々司田村克喜様、国学院大学文学博士岩本徳一様、伏見稲荷大社権宮司坪原喜三郎様、太宰府天満宮々司代理御田良清弥宜様、大宮八幡神社宮司川井清敏様、太鼓谷稲成神社宮司角河貞夫様、龜山八幡宮権宮司河原忠孝様、霧島神社宮司代理小久保夫人様等の遠来の客を迎え、地元選出



昭和四十二年御復興の気運漸く高まり、奉賛会が組織され、氏子をはじめ崇敬者の皆様の心からなる御協賛によりお蔭をもちまして四十三年七月目出度く、朱塗りの色も鮮やかに、社殿のご改修が成りました。この頃から年と共に参拝者も増えてまいりました。それから主要な建物も儀式殿、神門、楼門、社務所、守札庫等次々に造営成り、ここに昔におとらぬ鵜戸さんの姿を整え、中興千二百年祭を迎える事の出来たことは、此の上ない慶びであります。紙上を



もちまして厚く御礼申し上げます。去る二月一日奉祝行事として、剣法発祥の地に因み、剣道大会を行いました。参加選手を県内にもしぼりましたが、男子団体百八十チーム、女子個人式百五名という、まことに大盛會でありました。又二月十一日の奉祝四半の大会も、県内は勿論遠く熊本、天草全島よりも参加が、実に八百人という射手で、これ又大盛會でありました。只今記念事業の一つとして、累代別当の偉業を景仰顕彰せん



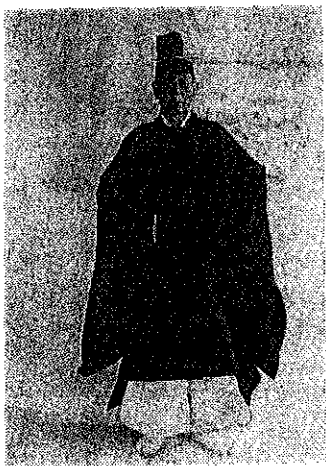
と、参道八丁坂の上の別当墓地を整備し、慰霊碑を建て、山門を造りつゝあります。七月十五日には、この墓地で盛大な法要を営み慰霊祭を斎行いたしました。又十一月九日には、中興千二百年奉祝祭を計画いたしておりますので、近々の御参拝をお待ち申し上げております。



の衆議院議員大原一三様、宮崎市々長中村隆則様、宮崎市々議会議長杉田憲輔様、宮崎商工会議所会頭日高安社様、全副会頭塩見一郎様、県内神職有志等合せて二百五十名参加して盛大な祝賀会となりました。

開会には県神社総代会々長中村光夫様の辞によって行われ、司会神宮祿宜増川久利の進行により、来賓の祝辞が神社本庁副総長浄見晴夫様、衆議院議員大原一三様、五神宮(英彦山神宮、霧島神宮、鹿兒島神宮、鵜戸神宮、宮崎神宮)代表して英彦山神宮々司高千穂有英様、国学院大学文学博士岩本徳一先生とつぎつぎに長友安美氏の神社本庁神職身分の特級昇進の栄誉を称え、心からなる慶びの言葉を呈し、続いて神宮役員(日南商工会議所会頭)河野宗泰様が一同を代表して宮司長友安美氏に対しお祝いの記念品が贈呈された。祝宴は宮崎市々長中村隆則氏の乾杯の首領によって始められ、宮司長友安美氏のお孫さん等の合員、又宮司の出身校である宮崎中学校々長、鵜戸さんまいるの歌が飛び出すなど祝宴に花を添えて、宮崎宮々司田村克喜様の万才三唱まで二時間賑々しく歡を尽した。

## 長友宮司謝辞



今般私が神社本庁神職身分特級に昇進いたしましたことについて、宮崎県神社庁々長甲斐武教様をはじめ鵜戸神宮役職員並びに青島神社役職員の呼びかけによりまして、この様な盛大なる祝賀会を御開催戴き諸先輩の方々を始め、同僚、後輩の方々、関係諸氏に至るまで多数の御参会を賜わり、且つ過分の記念品料を賜りました上、多くの方々の御丁寧なる祝辞を戴きましたことは身に余る光栄と存じ誠に感激至極に存じ厚く御礼申し上げます。

鵜戸神宮は本年延暦中興千二百年の佳き年に当り別当墓地整備、下の御門改築等奉祝行事が残っており、本年中に仕上げなければならぬ仕事も山積している次第であります。未だく頑張っていかねばなりません。

私が神職になりました五十年余り、その間県神社庁理事、副庁長、教化部長の役職にありましたこと、鵜戸神宮宮司の任にあたっては境内整備又維持経管に献身し、地方の教化に当たることが対照となったものと思

われませんが、これも御理解と御協力を賜りました役員総代の方々又偏に私の手足になつてくれた職員一同、又御来場の皆様の暖い御支援の賜であると深く肝に銘じ感謝致している次第であります。

月日の経つのは早いもので二年間鵜戸神宮にお世話になりましたが今度退職するのはこびと無事御奉仕出来ましたこと、ひとえに鵜戸の大御神様の

鵜戸神宮の

奉仕を終えて

鵜戸神宮権祿宜 稲 寿



稲 寿権祿宜
※生年月日 昭和三十二年 一月六日
※家族 父母、姉、弟
※趣味 卓球
※常の信条 努力
※帰省後の住所 宇都宮市陽西町一三三七 栃木県護国神社

職員紹介

御加護とそして良き諸先輩方の御指導のおかげと心から感謝に堪えません。

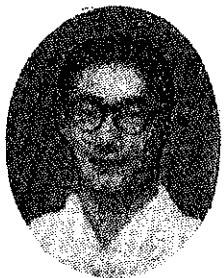
始めて神職の道を歩んでからは鵜戸神宮の御迷惑になることだけはせぬよう努力してきました、まわりに御迷惑ばかりかけていた自分のいたらなきに赤面することが絶えずある次第です。

今当時を思い出しますと見知らぬ土地で何もわからない自分によく相談のつてくれた人々、心配事などがあるとよく助ましてくれた人々の事が思い出され、それを思うと本当にこの土地へ来てよかったとつくづく思います。まだ鵜戸神宮で御奉仕したい気持ちもありますが自分の故郷へ帰る事となりましたので、残り少ない日々を鵜戸の大御神様のため誠心誠意の御奉仕して行きたいと思っております。

この様な回想文などに於いて暫し常套語句となって使われるは「瞬く間に」か「何と長いのであるが、私は前者を記して文頭としたい。「瞬く間に過ぎた鵜戸神宮に於ける神明奉仕の一年の日々」昨春大学を卒業し有難き御神慮に導かれて此の鵜戸神宮に奉職させて頂き、庶務、祭儀、社頭補佐の任を拜命賜わり、見事な自然とそこにまつわる様々な伝説の神秘性、一年を

一年奉仕して

鵜戸神宮権祿宜 御田村 俊一



御田村俊一権祿宜
※生年月日 昭和三十二年 三月二十一日
※家族 父母、弟
※趣味 レコード鑑賞、サッカー
※常の信条 スキー(特技) 感謝の気持

通じ途絶えることなく全国から訪れる参拝者のさかんでにぎやかな事、そして時々齎行される種々神事、祭事の豊富さそれぞれ分野にて専門手腕を發揮される先輩神職の方々の快活さ。これら全てが、私の奉職生活の日々を平凡ならしめていた要素である。

今私は二十三歳、神職を花樹として捉えるならば、今は、種より芽が生えた段階である。私が、どの様に育ちどの様な色形の花を咲かせるかは、無論私と素晴らしい奉職環境の中で私の神明奉仕の日々が始まった。北国雪の降り積もる新潟で生れ育ち決して社家の出身ではない私にとつて、南国陽光の降り注ぐ宮崎に御鎮座す鵜戸神宮に於



昭和五十六年新年特別祈願終了

昨年(昭和五十五年)末に崇敬者の皆様方に新年特別祈願の案内状を送付致しましたところ、一八三一件の申し込みを受け、正月三ヶ日間祈願祭を滞りなく齎行致しました。皆様方からの御祈願も日々悩み、苦しんでおられる事々、お子さんの進学成就又家族の病氣平癒、商売繁昌等種々をお書き寄せになり、祈願祭に携わる者、責務を大にして奉仕申し上げた次第で御座います。

御神符、御神酒等の発送も昨年より三日程早く一月九日には終了致しましたが、年末年始の

宮崎県東諸県郡

矢括沢子様のたより

新年おめでとう存じます。承りますれば宮司様には此の程最高位の特級の御神職に御昇進遊された由まことよるこばしき事と心よりお祝い申し上げます。

先日は又新年の御祈願をお願い致しました所、御丁寧に御清

郵便物混雑により遅れて皆様方の元へ届いた事を深くお詫び申し上げます。新年特別祈願が無事終了しましたことを御報告申し上げます。共に皆様方の御協力を宮司を始め職員一同感謝し、御多幸を祈念致し、お礼の言葉に代えさせていただきます。

大津市多苗すみ子様
の おたより
今年も有難う御座居ます。御祈願をいろ／＼とお送下さいまして遠い所御神様よりの御下りお品誠にもつたいない事と思っております。一月二十三日に着きました。

横須賀市
大橋良子様のおたより
寒さきびしいきょうこの頃皆様にはお元氣のことと存じます。新年を迎えるにあたり御祈願をしていただき誠にありがとうございます。また御丁寧に御神札、御神酒、長寿箸等々御送り下さいましてありがとうございます。おしらせがおそくなりすみません。

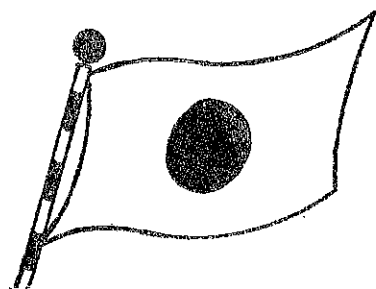
酒や色々と送付に頂りまして、まことに恐れ入りました。御みきも無事に落手致し丁度本人(子供)も正月休みで帰郷致しておりましたので家族共々よるこんで御清酒を戴きました。先ずは謹んでお祝詞と共に御礼申し上げます。二月二十日 長友宮司様 矢括沢子

加古川市 小原多美子様
の おたより
大寒に入りまして一きわお寒さ厳しくなつて参りました。お正月には特別祈願をして頂き、その上数々の結構な品、お送り頂きました恐縮致しております。郵便局の配達遅の折、留守の所受けとりに行くのが遅れてしまい、参りました処神宮様よりと分り海に申し訳ない事を致しました事をお詫び申し上げます。



祝祭日には 国旗を

あげましょう!





永友茂夫権祢宜

※生年月日 大正十年 五月二十八日

※家族 妻、子供三人

※趣味 盆栽、詩吟

※常の信条 誠



山口弘美権祢宜

※生年月日 大正十三年 九月二十二日

※家族 妻、子供三名

※趣味 映画鑑賞

※常の信条 神明奉仕



養崎敏子巫子

※生年月日 昭和三十六年 七月三十一日

※家族 父母兄二人

※趣味 レコード鑑賞

※常の信条 常に笑顔で人に接す。



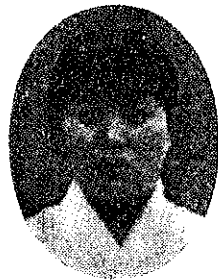
清水由紀子巫子

※生年月日 昭和三十六年 九月二十九日

※家族 母、兄姉二人、弟妹

※趣味 読書

※常の信条 誠実



鶉戸の宮居に

奉仕して

権祢宜

永友茂夫

昭和五十四年秋当宮に奉職以來一年有余。その間諸先輩の御教導のもとに、ようやく神職の生活にも順応出来るようになりましたこの頃です。特に水平線より朝日が鳥居をすかして昇る光景は荘厳であり且つ神秘的でさえあります。おのずから手の合さるを覚えます。

又この度は不肖権祢宜を拝命し益々職務の重且つ大なるを痛感致し居る次第であります。計らずも親子二代に亘り奉仕の光榮に浴し、加えて還歴も重なり更に本年は采ある延暦中興千二百年祭を迎えることの出来るところであります。今後共益々神職としての道に精進致したい覚悟であります。

一年たって

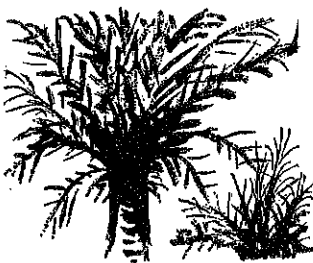
清水 由紀子

神宮に御奉仕するようになって、ようやく一年がたちました。笛や太鼓もなんとか形になってきたこのごろです。

はじめのうちは、神様なんてという気持ちがありました。ところが一年たってみると、神を尊う気持ちが出てきています。

自分の一生のうちで、このようなお宮に御奉仕する機会を得て、こんな気持ちが出てくるよう

になったことは、よかったです。これからも一生懸命奉仕させていただきます。ありがとうございます。



編集後記

山桜が咲き、鶉戸の山にも愈々春が訪れました。最近には新婚カップルに加え一般崇敬者の数も増し神域は一段と賑わっております。

このたび「鶉戸」第十七号の発刊は当りましては、特に本年は延暦中興千二百年祭の佳き年に当たりますので、その内容を中心に剣道大会、四半的弓道大会又さきに行なわれました宮司神職身分特級祝賀会の模様、新職員紹介、並びに新年特別祈願の礼状の一部等を掲載いたしました。が、なか／＼思う様に充実した紙面に至らず、大変申し訳ありません。

次号こそはと張り切っておりますので、皆様方の御投稿をお待ち申し上げております。

送付先 〒八八七〇一

日南市大字宮浦三三三三

鶉戸神宮社務所 宛

